



プレスリリース

生物多様性を守れ！自然保護イベント:NEC 学生バードソン 2009 開催！！
全国の学生がバードウォッチングと募金活動を競う！！

学生バードソン 2009 実行委員会は、6月7日(日) 全国の学生が参加する自然保護チャリティイベント「NEC 学生バードソン 2009 (協賛: NEC (日本電気株式会社)・後援: 財団法人日本野鳥の会)」を開催しました。

学生が主体であるこのイベントは、東京農業大学、明治大学、日本大学、法政大学、東邦大学、武蔵野大学など首都圏の学生が中心となって運営され、北は北海道、南は鹿児島からと、全国から学生 30 チーム、社会人 14 チームの合計 44 チームが参加しました。競技当日は、早朝 3 時に学生バードソン 2009 実行委員会本部が競技開始を宣言した後、“東京農業大学 野鳥研究会”が一番乗りで、まだ暗い早朝 3:20 からスタートしました。その後次々と多くのチームがスタートの宣言をし、学生たちの鳥を見ることにかけては誰にも負けるものが、という熱い意気込みが伝わってきました。

普段、自然保護の為に何かしたいけど何をすれば良いかわからない。自然保護団体に加わるにはなかなか勇気がいるなど、自然保護へ辿り着くにはいくつもハードルを越えなければなりません。しかしこのような全国の学生達が、気軽に、かつ目標に向かって熱く燃えながら、学生バードソンという形で自然保護活動を実践できたのです。このような形の自然保護があることをご存知でしたか？私たち実行委員会は是非、多くの方にこの素晴らしい競技を、この感動を知っていただきたいのです。

少しでも興味を持った方は是非、下記 URL へお越しください！

NEC 学生バードソン HP : <http://www.fa-net.org/birdathon/2009>

【学生バードソン 2009 実行委員長のコメント】

阿部辰己 (東京農業大学 3 年 20 歳)

バードウォッチングを競う。募金を競う。その先に優勝という明確な達成感がある！そこが他の募金活動とは違う所だと思います。そして、この参加しやすい活動を通して、自然保護活動ができるだけでなく、同じ志をもつ学生同士のネットワークが広がることも、もう一つの魅力です。同じ考えをもつ人同士で、お互い刺激しあいながら高め合い、また協力することで、これからの自然保護活動がより良く、活発になってほしいと思います。

【学生バードソンについて】

「バードウォッチング」と「マラソン」を掛け合わせた造語です。一定時間内に何種類の野鳥を発見することができるかを競うチーム (3 人 1 組) 参加のイベントです。また、参加者は一定期間募金活動もして募金者数、募金額も競います。バードウォッチングや自然散策を楽しみながら自然保護ができるという、素晴らしい競技です。

学生バードソンは、1988 年から行なわれており、今年で 21 回目の開催となります。今まで、絶滅の危機に瀕しているタンチョウ繁殖地の土地を買い取るための資金や、コアジサシの保護を行う NPO への活動資金援助等、様々な団体に、総額約 1700 万円を寄付してきました。

【カンムリウミスズメについて】

日本近海のみで繁殖する海鳥です。絶滅の恐れが高く、環境省レッドデータブックでは、トキやコウノトリに次ぐ絶滅危惧 類に指定されています。しかし、認知度も低く国や地方自治体等では、カンムリウミスズメを保護するための具体的な取り組みは殆ど行われていません。また、繁殖地が無人島で、繁殖以外は、海洋で生活するため、詳しい生態等は分かっていません。

【今年度募金先】

今年、(財)日本野鳥の会は75周年を迎え、新たにカンムリウミスズメを保護する取り組みに着手します。生態に不明の多いカンムリウミスズメの保護活動をするにはまず、地道な調査活動による十分な調査データが必要不可欠です。しかし、カンムリウミスズメの豊富な調査データを得るにはより多くの費用が必要です。中でも船のチャーター代は高額で、調査費用の中でも大半を占め、このお金が集まらなると十分な調査を行うことができません。そこでNEC学生バードソン2009は(財)日本野鳥の会のカンムリウミスズメ保護プロジェクトに全額寄付をします。

【お問い合わせ先】

学生バードソン2009実行委員会

Mail:necbirdathon2009@yahoo.co.jp

TEL:090-3533-2969(広報担当:深澤真梨奈)

FAX:047-452-2407

URL:<http://www.fa-net.org/birdathon/2009>

報道各社様におかれましては、ぜひとも、本件の報道にご協力いただければ幸いです。

【バードソンに協賛企業のNECが参加】

NEC学生バードソンにNECの社員の方が参加されました。バードウォッチングをする場所はカンムリウミスズメの繁殖地である三宅島。募金先である(財)日本野鳥の会の職員の方の案内のもと、バードウォッチングを行いました。さらに、学生バードソン2009実行委員会もチームを作りNECチームに同行し、2チームで競技を行いました。

「NECの方々にはバードウォッチングの楽しさに触れ、三宅島の自然の魅力をいっぱい感じ、また来たいとコメントしていただきました。またNECの方々だけでなく、私たち学生も現地で(財)日本野鳥の会の調査員の方の生の声を聞くことで、カンムリウミスズメの現状、調査の必要性と過酷さについて直に感じました。学生と(財)日本野鳥の会、そしてNECとで同じ時間を共有することは素晴らしいことだと思います。今後もこのような連携を続けながらNECの方々と共に自然保護に携わっていかれたらと思います。」(実行委員長 阿部辰己)

今、多くの企業で社会的責任(CSR)が叫ばれています。しかし、多くの企業人が本当にそうすべきと思って社会貢献を行っているのか疑問に思います。普段の生活で、社会貢献の必要性を感じるのは難しいことだと思います。だからこそ、NECの社員の方々のように、一人の人間という立場で、実際に参加して関わることはとても大切なことだと思います。

【募金のお願い】

NEC学生バードソン2009では、競技参加者とは別に一般の方の募金も募集しております。

募金をして下さるとい方は、下記郵便口座へお振り込みください。

口座名:学生バードソン実行委員会

口座番号:00130-1-391954

【参考資料】

写真の提供もできます。但し、カンムリウミスズメの写真については撮影者のお名前を掲載していただくことが掲載の条件になりますので、予めご了承ください。



撮影:中村豊氏



撮影:中村豊氏